

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成 29 年 9 月 15 日)

- 1 山陰デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催結果について
【観光戦略課】・・・1 ページ
- 2 第 1 回鳥取県民泊活用検討会の開催結果について【観光戦略課】・・・2 ページ
- 3 鳥取県内空港への海外チャーター便の取組状況について【観光戦略課】・・・4 ページ
- 4 (公財)鳥取県国際交流財団のこれまでの活動等について
【交流推進課】・・・6 ページ
- 5 「全世界のアニメファンが選んだ、『訪れてみたい日本のアニメ聖地 88』(2018 年
版)」の選定について
【まんが王国官房】・・・7 ページ
- 6 第 6 回まんが王国とっとり国際マンガコンテストの応募状況について
【まんが王国官房】・・・8 ページ
- 7 京都国際マンガ・アニメフェア 2017 への出展について
【まんが王国官房】・・・9 ページ
- 8 伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント等について
【西部総合事務所地域振興局】・・・10 ページ

観光交流局

山陰デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催結果について

平成29年9月15日
観光戦略課

鳥取県、島根県とJRグループが共同実施する「山陰デスティネーションキャンペーン」(平成30年7月～9月、テーマ:「Nostalgic San' in わすれがたき山陰」)に向けて、全国の旅行会社やマスコミに両県の魅力をPRする「全国宣伝販売促進会議」を以下のとおり開催しました。

1 主催

山陰デスティネーションキャンペーン協議会 会長:平井知事(両県知事が隔年交代)
(構成:鳥取県・島根県、両県市町村・民間団体等、西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本))

2 日程及び全体会議等の様子

(1) 8月23日(水) [全体会議・歓迎レセプション:米子コンベンションセンター多目的ホール]

(全体会議 14:00～15:40 / 歓迎レセプション 17:25～18:50)

(主な出席者)平井鳥取県知事、溝口島根県知事、来島JR西日本社長、室JR西日本執行役員営業本部長、
稲田鳥取県議会議長、川中中国運輸局長、伊木米子市長、榎本岩美町長、松本北栄町長

【全体会議、歓迎レセプションの様子】

- ・今回で6回目となる山陰デスティネーションキャンペーンであるが、過去最も多い全国の旅行会社40社(345名)とJR関係者、地元関係者など691名が参加。(前回H23の宣伝販売促進会議では、旅行会社146名を含むトータル497名が参加)
- ・平成30年7～9月の山陰デスティネーションキャンペーン本番の旅行商品造成に向けて、観光素材のプレゼンテーションや県内各市町の観光PR、郷土芸能(しゃんしゃん傘踊り、関金田植え歌など)披露、歓迎レセプションを実施。
- ・山陰両県合わせて280の観光素材を準備して、7つのテーマ(おもむき、うつろい、ときめき、えにし、いざない、あじわい、たしなみ)に沿って、はわい温泉旅館の若女将や三朝小唄弁士、しゃんしゃん鈴の音大使などが実施する観光プレゼンテーションによる県内各地の魅力発信とともに、23ブース出展した県内各市町のPRにおいては、大山開山1300年祭のブースを設けて平成30年度に向けて広く情報発信した。今回は、大山エリアの観光圏域に含まれる岡山県真庭市も初めて参加して、新たな枠組みにおいて広域的なPRを強化したところ。

(2) 8月24日(木)～25日(金) [エクスカージョン(視察旅行)]

- ・両県の観光素材をPRする9コースを設定(鳥取県3コース、島根県(隠岐含む)4コース、両県にまたがる日帰り2コース)して、鳥取県内は、水木しげるロード、日野町たたら場跡、大山寺、植田正治写真美術館、琴浦町鳴り石の浜、倉吉白壁土蔵群、青山剛昌ふるさと館、三朝温泉、鳥取砂丘砂の美術館、かろいち、渡辺美術館、レストランアルマーレ、若桜鉄道、智頭町板井原集落などを視察。

3 会議参加者の声及びその後の反響

(1) 会議参加者の声

- ・プレゼンテーションが7つのテーマに分かれた個性的なもので、素材も魅力的なものが多くあった。
- ・屋台ブースでの様々なご当地グルメがどれもおいしく、非常に楽しめた。
- ・伝統芸能(しゃんしゃん傘踊り、がいな万灯)がとても華やかで印象的だった。
- ・来年に向けて魅力ある旅行商品を造成し、多くの観光客を山陰に送客したい。

(2) その後の反響

- ・八頭町(大江ノ郷自然牧場)へは、早速大手旅行会社複数からツアー造成の打診があった。

4 今後

平成30年7～9月の山陰デスティネーションキャンペーン本番に向けて、今年10月以降、東京、名古屋、大阪、広島、福岡での観光情報説明会やメディアキャラバンを行い、引き続き、観光商品造成、観光誘客に取り組んでいく予定。

第1回鳥取県民泊活用検討会の開催結果について

平成29年9月15日
くらしの安心推進課・観光戦略課

平成29年6月16日に住宅宿泊事業法が公布(施行は公布日から1年以内)されたことを踏まえ、本県の民泊活用に向けた制度のあり方及び施策等について審議するため、旅館ホテル業、不動産業、民泊実施者等で構成する「鳥取県民泊活用検討会」を立ち上げ、下記のとおり第1回検討会を開催しましたので、その概要を報告します。

記

1 第1回鳥取県民泊活用検討会

- (1) 日時 9月13日(水) 午後2時から3時30分まで
- (2) 場所 県庁第34会議室
- (3) 検討会委員

氏名	所属等
山下 博樹(委員長)	鳥取大学地域学部地域政策学科教授
山本 潤一	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合副理事長(旅館業)
中島 伸之	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合副理事長(旅館業)
安養寺 亨	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合常務理事(ホテル業)
山根 卓也	(公社)鳥取県宅地建物取引業協会理事
丹波 恭子	(公社)全日本不動産協会鳥取県本部本部長
藤原 俊文	五しの里さじ地域協議会会長
松本 佳代子	(一社)鳥取中部観光推進機構事務局員
原 麻美	解放 Guest House 勝造オーナー
村上 誘子	公募委員、元鳥取市自治連合会理事

【事務局】くらしの安心推進課、観光戦略課

【オブザーバー】住まいまちづくり課、とっとり農業戦略課、鳥取市

(4) 議事

- 報告事項 ・住宅宿泊事業法の概要(別添のとおり)
 - ・県内の民泊の状況
- 協議事項 ・県内の住宅宿泊事業の実施に当たっての課題等について
 - ・民泊を活用した魅力ある観光地づくり等について

(5) 主な意見

【民泊を実施するに当たっての課題等】

- ・民泊を推進するのであれば行政において違法な民泊が出ないように適切な管理を行っていただきたい。
- ・現在の旅館・ホテルの客室稼働率からすると、民泊が参入することにより既存旅館等が圧迫されることも懸念されるが、民泊を排除するのではなく、双方が発展するよう知恵を出していかなければならない。
[参考]平成28年 宿泊施設客室稼働率(観光庁による宿泊統計調査)
全国:全体59.7%/旅館37.1%、鳥取県:全体51.0%(第32位)/旅館35.6%(第24位)
- ・農山漁村地域等での田舎暮らし体験を提供する民泊であれば、宿泊客の棲み分けができ既存旅館等と共存可能と考える。
- ・旅館業法許可を取得するにあたって必要となる消防法、建築基準法等の設備基準等が住宅宿泊事業法による民泊には適用されないことから、宿泊者の安全面で問題が残る。

【民泊の活用について】

- ・教育旅行の旅行先として鳥取県が認知され始めているが、都市部からの受入れ要請に応えるためには、現状の民泊数では不足しており、受入れ家庭をもっと増やさなければならない。
- ・地域をあげて民泊推進に取り組んでいる団体をモデルとして他地域でも同様の取組ができないか。
- ・地域における空き家、過疎化等の問題の一つの解決策として民泊の活用ができないか。地域の良さを体験することができたり、大人数でも周囲に気兼ねなく泊まることができる一軒家等、宿泊者のニーズを踏まえた宿泊施設の選択肢があるのは観光客にとって重要と思う。

2 今後の予定

時期	内容
H29年10月	民泊先行自治体視察(国家戦略特区による民泊実施地など)
11月	第2回検討会開催(住宅宿泊事業の実施及び民泊活用に関する課題の整理・検討)
12月	第3回検討会開催(検討会結論)

●住宅宿泊事業法

背景・必要性

- ここ数年、民泊サービス(住宅を活用して宿泊サービスを提供するもの)が世界各国で展開されており、我が国でも急速に普及。
- 急増する訪日外国人観光客のニーズや大都市部での宿泊需給の逼迫状況等に対応するため、民泊サービスの活用を図ることが重要。
- 民泊サービスの活用に当たっては、公衆衛生の確保や地域住民等とのトラブル防止に留意したルールづくり、無許可で旅館業を営む違法民泊への対応が急務。

法案の概要

1. 住宅宿泊事業者に係る制度の創設

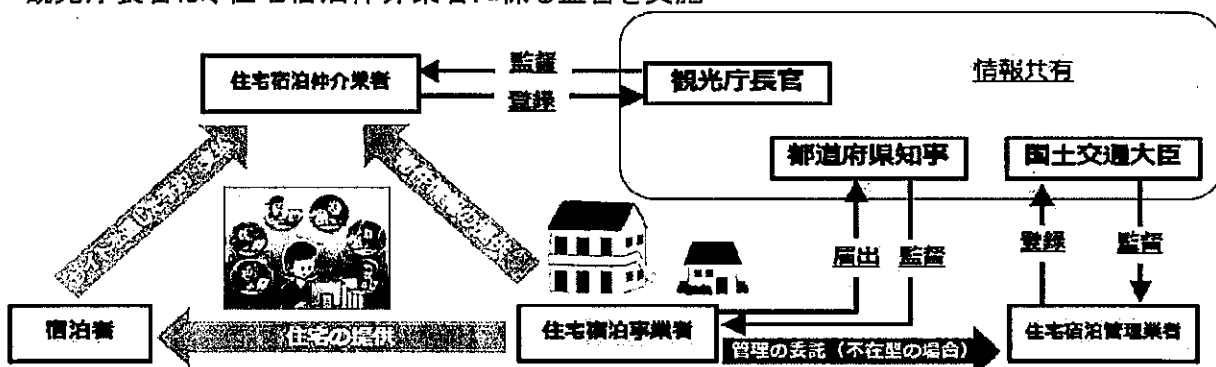
- ① 住宅宿泊事業(民泊サービス)を行おうとする者は、都道府県知事への届出が必要
(年間提供日数の上限は180日(泊)とし、地域の実情を反映する仕組み(日数制限条例)の創設)
 - ② 家主居住型の住宅宿泊事業者に対し、住宅宿泊事業の適正な遂行のための措置(衛生確保措置、騒音防止のための説明、苦情への対応、宿泊者名簿の作成・備付け、標識の掲示等)を義務付け
 - ③ 家主不在型の住宅宿泊事業者に対し、上記措置を住宅宿泊管理業者に委託することを義務付け
 - ④ 都道府県知事は、住宅宿泊事業者に係る監督を実施
- ※ 都道府県に代わり、保健所設置市(政令市、中核市等)、特別区(東京23区)が監督(届出の受理を含む)・条例制定事務を処理できることとする

2. 住宅宿泊管理業者に係る制度の創設

- ① 住宅宿泊管理業(家主不在型の住宅宿泊事業者から委託を受けて1②の措置(標識の掲示を除く)等を行うもの)を営もうとする者は国土交通大臣の登録が必要
- ② 住宅宿泊管理業者に対し、住宅宿泊管理業の適正な遂行のための措置(住宅宿泊事業者への契約内容の説明等)の実施と1②の措置(標識の掲示を除く)の代行を義務付け
- ③ 国土交通大臣は、住宅宿泊管理業者に係る監督を実施

3. 住宅宿泊仲介業者に係る制度の創設

- ① 住宅宿泊仲介業(住宅宿泊事業者と宿泊者との間の宿泊契約の締結の仲介を行うもの)を営もうとする者は観光庁長官の登録が必要
- ② 住宅宿泊仲介業に対し、住宅宿泊仲介業の適正な遂行のための措置(宿泊者への契約内容の説明等)を義務付け
- ③ 観光庁長官は、住宅宿泊仲介業者に係る監督を実施



【目標・効果】 国内外からの観光旅客の来訪及び滞在の促進並びに国民経済の発展 (KPI)

訪日外国人旅行者数 836万人(2012年確定値) ⇒ 2404万人(2016年推計値) ⇒ 4000万人(2020年)

地方部(三大都市圏以外)での外国人延べ宿泊者数
855万人泊(2012年) ⇒ 2514万人泊(2015年) ⇒ 7000万人泊(2020年)

訪日外国人旅行消費額 1.1兆円(2012年) ⇒ 3.7兆円(2016年速報) ⇒ 8兆円(2020年)

日本人国内旅行消費額 19.4兆円(2012年) ⇒ 20.4兆円(2015年) ⇒ 21兆円(2020年)

鳥取県内空港への海外チャーター便の取組状況について

平成29年9月15日
観光戦略課国際観光誘客室

韓国（コリアエクスプレス、エアソウル（韓国の大型連休に合わせた臨時チャーター））、台湾（遠東航空）、ベトナム（ベトジェットエア）と9月～12月にかけて、合計49往復が予定されるチャーター便により多くの外国人観光客が来県します。

県では、チャーター便で来県される外国人観光客の皆様にあたたかい歓迎のおもてなしを実施し、鳥取県に来て良かったと感じて鳥取県のファンになっていただき、帰国後、周囲に鳥取県をPRされることで、観光客の増加に繋げていきます。

チャーター便の概要（予定）

【韓国】

1 コリアエクスプレスエア

- (1) 時期：平成29年9月30日（土）から12月30日（土）までの3か月間
※コリアエクスプレスエアとしては、ツアーが好調であれば、継続した運航を検討する意向
- (2) 運航時間：曜日 週3便（火・木・土）全40往復
時間 務安空港発 11:00—鳥取空港着 12:20
鳥取空港発 13:00—務安空港着 14:20
- (3) 空 港：韓国・務安(ムアン)国際空港(韓国全羅南道・務安郡)—鳥取砂丘コナン空港
- (4) 使用機材：エンブラエル145（49人乗りジェット）※同社は本機材を2機保有
- (5) 主 催：コリアエクスプレスエア（拠点空港：襄陽(ヤンヤン)国際空港)
- (6) 形 態：インバウンド専用運航（すべて韓国からのお客様）
※すべて満席の場合 49人×39ツアー=1,911人
※2泊3日コース及び3泊4日コースを設定

2 エアソウル（韓国のお盆「秋夕（チュソク）」の大型連休に合わせた臨時チャーター便）

- (1) 時期：平成29年10月2日（月）・3日（火）・5日（木）・6日（金）
※10/3(火)、6(金)の米子ソウル便は通常どおり運航するため、3,6日のチャーター便は1日2便が就航
※今年の韓国の秋夕休暇は、10/3（火）～6（金）であり、これに7日（土）～8日（日）の週末と9日（月）の「ハングルの日」の祝日を加えると最長7日間という韓国では非常に珍しい長期連休となるため、海外へ出かける旅行者も多い見込み

(2) 運航時間：

運航日	出発	到着	搭乗者
10/2（月）	仁川 16:45	米子 18:15	韓国人客
	米子 19:15	仁川 20:55	回航便（搭乗なし）
10/3（火）	仁川 17:25	米子 18:55	韓国人客
	米子 19:55	仁川 21:35	回航便（搭乗なし）
10/5（木）	仁川 17:05	米子 18:35	韓国人客
	米子 19:35	仁川 21:15	(10/2 到着客の帰路便)
10/6（金）	仁川 14:35	米子 16:05	韓国人客
	米子 17:05	仁川 18:45	(10/3 到着客の帰路便)

- (3) 空 港：韓国・仁川国際空港—米子鬼太郎空港
- (4) 使用機材：A321（195席）
- (5) 主 催：エアソウル
- (6) 形 態：インバウンド専用運航（すべて韓国からのお客様）
※すべて満席の場合 194人（販売席数）×4ツアー=776人

【台湾】

- (1) 時期：平成29年11月6日から11月30日 全7往復
 ※山口宇部空港との連続インバウンド専用のプログラムチャーター便で、鳥取砂丘コナン空港へは8日の間隔で往復3便運航の予定
 ※鳥取砂丘コナン空港には11/10(金)、11/18(土)、11/26(日)に運航予定
- (2) 運航時間：11/10(金) 鳥取 12:00着 鳥取 13:00発
 11/18(土)、11/26(日) 鳥取 9:00着 鳥取 10:00発
- (3) 空港：台北桃園(とうえん)国際空港-鳥取砂丘コナン空港
- (4) 使用機材：MD83(約160席) ※MD=マクドネルダグラス(アメリカ製)
- (5) 主催：遠東航空(英語名：ファーイースタン航空)
- (6) ツアー内容：鳥取砂丘コナン空港及び山口宇部空港と連携した連続チャーター便
 ・山口宇部空港(イン) → 鳥取砂丘コナン空港(アウト)
 ・鳥取砂丘コナン空港(イン) → 山口宇部空港(アウト)
- ※両コースとも4泊5日の日程で鳥取県へは2泊の予定(団体ツアーのみで個人旅行者はなし)
- ※鳥取砂丘コナン空港は滑走路(2,000m)が短く、重量制限(台湾側の規定)により離陸時に約130人しか搭乗出来ない。
- ※すべて満席の場合 130人×3ツアー=390人、160人×3ツアー=480人
 合計 870人
- 主な立ち寄り場所：鳥取県 鳥取砂丘、白兔海岸、水木しげるロード
 (宿泊 三朝又は大山又は皆生温泉)
 島根県 出雲大社、石見銀山(宿泊 玉造温泉)
 山口県 秋吉台、瑠璃光寺(宿泊 萩)

【ベトナム】

- (1) 時期：平成29年11月8日(水)、12日(日)
 ※農協観光とHISベトナムが主催する相互チャーター便で往復2便の予定
- (2) 運航時間：
- | 運航日 | 発着空港及び時刻(現地時間) | 搭乗者 |
|---------------|--|----------|
| 11月8日
(水) | 7:35 ノイバイ国際空港(ハノイ)
→ 14:00 米子鬼太郎空港 | ベトナム人観光客 |
| | 15:00 米子鬼太郎空港
→ 18:15 ノイバイ国際空港(ハノイ) | 日本人観光客 |
| 11月12日
(日) | 9:35 ノイバイ国際空港(ハノイ)
→ 16:00 米子鬼太郎空港 | 日本人観光客 |
| | 17:00 米子鬼太郎空港
→ 20:15 ノイバイ国際空港(ハノイ) | ベトナム人観光客 |
- (3) 空港：ノイバイ国際空港(ハノイ)-米子鬼太郎空港
- (4) 使用機材：A320(175席)
- (5) 主催：航空会社：ベトジェットエア
 旅行会社：(日本側) 農協観光鳥取支店
 (ベトナム側) HISベトナム
- (6) ツアー内容：ベトナム・日本側とも4泊5日のツアー。ベトナム観光客は鳥取砂丘、砂の美術館、青山剛昌ふるさと館などの観光地や梨狩りなど鳥取県内を周遊する予定。また、鳥取県その他、広島、岡山、京都などがツアーコースの一部に含まれる予定。
- ※すべて満席の場合(ベトナム人観光客) 174人×1ツアー=174人

(公財) 鳥取県国際交流財団のこれまでの活動等について

平成 29 年 9 月 15 日
交 流 推 進 課
空 港 港 湾 課

1. これまでの取組及び評価について

(1) 成り立ち及びこれまでの取組

<成り立ち>

- ・平成 2 年 財団法人鳥取県国際交流財団設立（事務所：鳥取県文化国際課内）。
- ・平成 5 年 主たる事務所を鳥取商工会館 2F に移転。
- ・平成 8 年 主たる事務所を鳥取空港国際会館に移転。

<取組>

- ・設立当初は県民を対象とした、国際交流イベント、国際理解講座の事業を実施。
- ・全国的に在留外国人が著しく急増する中、寄附行為を変更し、目的に多文化共生の社会づくりも掲げ、これまでの県民を対象とした事業に加え、在留外国人を対象とした「コミュニケーション支援」、「生活支援（災害支援）」等、「多文化共生推進」への取組を拡充。

年度	設立当初（平成 5 年～）	平成 1 8 年以降拡充した事業
主な事業内容	（県民を対象とした国際交流イベント中心） ・国際理解講座、講演会 ・民間国際交流・協力促進制度 ・夢みなど基金による国際交流活動支援（H10～）	（左記事項に加え、在留外国人への支援拡充） ・多文化共生まちづくりネットワーク構築事業 ・専門通訳ボランティア派遣 ・専門通訳ボランティア育成 他

(2) 取組に対する評価

- ・鳥取県の国際交流の取組が、環日本海地域を中心に拡大・深化していくのに併せ、草の根レベルの民間交流活動や国際理解の促進がその重要性を増してきた中、夢みなど基金などを通じた県民の国際交流や異文化体験講座、国際交流フェスティバルなどを通じた県民の国際理解の促進など、国際交流財団は非常に重要な役割であったと考えている。
- ・日本語支援を担う県内ボランティアの育成や人材の育成・確保に精力的に取り組むなど、言葉の壁、文化の違いなど孤立しやすい外国人に対し、相談し寄り添える専門機関として、利用者からは高い評価・信頼を受けており、在留外国人が安心して活動できる環境づくり、本県の多文化共生を推進する上でも、国際交流財団は非常に重要な役割を果たしてきていると評価している。

2. 今後の展望について

(1) 環境変化

- ・国内の在留外国人の数は、2016 年末には 230 万人を超え（238 万人／対前年 6.7% 増）、統計を取り始めた 1959 年以降過去最高を記録した。政府においては働き方改革の一環として、外国人労働者の活用についても議論がなされたところ。
- ・県内では在留外国人の数は平成 17 年の 4,961 人をピークに減少傾向であったが、平成 27 年から増加傾向にあり、平成 28 年には 4,092 人となっている。
- ・また、本県の外国人労働者数については平成 20 年の 1,227 人から増加傾向にあり、平成 28 年には 2,109 人となっている。
- ・今後、本県においても外国人労働者を含めた在留外国人は増加していくものと思われる。

年度／区分	H20 (2008)	H28 (2016)	差
県内の外国人労働者数	1,227 人	2,109 人	+882 人 (+72%)
県内の外国人登録者数	4,482 人	4,092 人	▲390 人 (▲8.7%)

（出典：外国人雇用状況の届出状況（厚生労働省））/鳥取県外国人登録者数の推移（交流推進課まとめ）

- ・併せて、本県と海外を結ぶ交通網の拡大・発展（エアソウル、香港航空、DBS）により、近年、海外からの外国人観光客が増加しており、今後も伸びていくものと推測。

年度／区分	H19 (2007)	H28 (2016)	差
外国人観光客宿泊者数	15,300 人	89,810 人 ※ (100,320 人)	74,510 人 (+486%)

※宿泊施設従業員数 10 人未満の施設を含む

（出典：平成 28 年観光客入込動態調査結果の概要）

(2) (公財) 鳥取県国際交流財団の役割

- ・今後、在留外国人が増えていくことを考えると、他県の例などから慣れない日本での生活上の不安や日本人との摩擦などが顕在化してくる事が想定される。
- ・今後は生活習慣の指導、コミュニケーション支援等といった対策を強化するなど、多文化共生推進を市町村等とも連携し強化していく必要がある。

（具体例：以下分野において関係機関と連携し、特に言語面での支援を強化していく）

- ・労働分野等：関係機関（労働局、商工会議所等）等と連携した労働相談、生活習慣の指導等。
- ・教育分野等：教育機関と連携した青少年の学習支援や母語による学習サポート、保護者と学校機関との意思疎通等のサポート等。
- ・医療分野等：医療機関と連携した受診時の通訳支援、医療制度の説明支援等。

- ・また、県民レベルの国際交流活動及び国際理解の促進は、多文化共生を進めていくうえでも非常に重要。引き続き、県民の身近な国際交流支援機関としての取組を推進していく必要がある。

「全世界のアニメファンが選んだ、『訪れてみたい日本のアニメ聖地88』 (2018年版)」の選定について

平成29年9月15日
まんが王国官房

一般社団法人アニメツーリズム協会が実施する「全世界のアニメファンが選んだ、『訪れてみたい日本のアニメ聖地88(2018年版)』」が発表され、鳥取県からは3カ所が選定されましたので報告します。
本県も、同協会と連携してアニメツーリズムを推進していきます。

1 アニメの聖地88に選定された場所

- (1)「水木しげるロード」(境港市)
- (2)「青山剛昌ふるさと館」(北栄町)
- (3)「ひなビタ♪」(倉吉市)

2 アニメ聖地88選定の概要

- (1) 目的
「アニメの聖地」を選定することにより認知度を高め、組織化し、海外・国内への発信や広域観光ルート造成等によりインバウンドを中心とした誘客を図る。
- (2) 選定方法
・聖地投票による人気度に加え、地方自治体等での対応、作品の権利者の意向を踏まえ総合的に選定。
・今回88カ所を「2018年版」として選定。今後毎年改めて選定していく。
- (3) 選定箇所の内訳
・作品の舞台：66カ所 ・記念館等：11カ所 ・その他の施設：9カ所 ・イベント：2カ所

3 アニメ聖地88発表会

- ・8月26日(土) 11:00~11:40
 - ・「C3AFA TOKYO」(会場：幕張メッセ) 会場内ステージにて
- 【主な出演者】 田村明比古観光庁長官、アニメツーリズム協会 富野 由悠季会長
井上 伸一郎氏(Newtype(角川)初代編集長)、岐阜県(都竹淳也飛騨市長)
埼玉県(観光課星野雄一氏)、鳥取県(江原修まんが王国官房長)
- ※C3AFA TOKYO：ホビーイベントとアジア各地で開催されるアニメイベントを融合した総合的なポップカルチャーイベントとして始めて開催(来場者約45千人)

<発表会の様子>



<鳥取県関係情報のコーナー>



4 アニメツーリズム協会による今後の情報発信

- (1) 選定された各聖地へのアニメ聖地認定プレートや記念となるスタンプ(御朱印)等を設置
- (2) 「アニメ聖地88」を核にした周遊促進、広域観光ルートや商品・サービス開発
- (3) 国内外への情報発信(ネットでの発信、アニメ・旅行関連イベントへの共同出展)

【参考】一般社団法人アニメツーリズム協会の概要

- ・設立日 平成28年9月16日
- ・目的 アニメ聖地により全国的にインバウンドを中心とした広域観光を推進
- ・主な役員 会長 富野 由悠季(アニメ監督、演出家)
理事長 角川 歴彦(株式会社KADOKAWA 取締役会長)

第6回まんが王国とっとり国際マンガコンテストの応募状況について

平成29年9月15日
まんが王国官房

今年4月から8月末まで「旅」をテーマに作品募集を行った「第6回まんが王国とっとり国際マンガコンテスト」には、世界25ヶ国・地域から704作品の応募があり、国・地域数、作品数ともに過去最高となりました。

このコンテストは、マンガの老家本元・日本の中に「まんが王国とっとりあり！」を世界に向けて発信することを目的とし、一つのテーマのもとに商業目的にこだわらない自由な発想で描かれた作品が、年齢や国籍、プロ、アマを問わず同じ土俵で競い合うユニークな国際コンテストです。

今後年内に審査を行い、来年2月に表彰式を行う予定です。

1 応募作品数

704作品（うち海外作品153作品）

合計	部門別			年齢別			国内外別		
	1コマ	4コマ	ストーリー	20歳未満	15歳以下		日本(県内)	日本(県外)	海外
					うち県内				
704	336	191	177	318	125	78	104	447	153

○応募作品数：704作品（過去最高）

○応募者の国籍：25ヶ国・地域（過去最高）

※今回初めて応募があった国：オランダ、ドイツ、ウズベキスタン、インドネシア、ミャンマー、メキシコ、グアテマラ

○20歳未満の応募割合：45.4%

※「まんが甲子園」を実施している高知県と「まんが王国友好通商条約」に基づく広報連携を実施

○県内15歳以下の応募作品数：78作品（過去最高）

※県内学校への広報を強化

○専用ウェブサイトからのデータ応募数：146作品（今回から開始）

<応募作品数の国・地域別内訳>

日本 551（県内104、県外447）、台湾 32、ロシア 28、香港 21、中国 16、韓国 13、マレーシア 9、イタリア 6、オランダ 4、インドネシア 4、その他 20

2 募集期間

平成29年4月10日から平成29年8月31日まで

3 募集概要

(1) 募集作品：1コママンガ、4コママンガ、ストーリーマンガの3部門

(2) テーマ：「旅」

(3) 応募資格：年齢・国籍などの資格制限なし

(4) 各賞：以下のとおり

○最優秀賞：1作品（賞状、賞金50万円）

○優秀賞：2作品（賞状、賞金10万円）

○審査員特別賞：3作品程度（賞状、賞金5万円）

○U-15賞（対象15歳以下）3作品程度（賞状、記念品（3万円相当））

4 今後の予定

○10月下旬：1次審査

○11月上旬：2次審査

○2月下旬：表彰式・作品集発行

京都国際マンガ・アニメフェア2017への出展について

平成29年9月15日
まんが王国官房

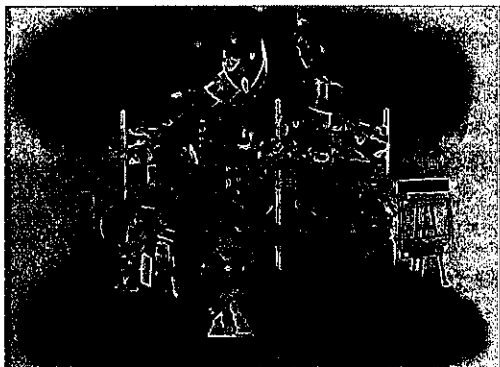
「まんが王国とっとり」への関西からの誘客を図るため、京都市などが主催する西日本最大のマンガ・アニメの総合展示会「京都国際マンガ・アニメフェア2017」（通称「京まふ」）に鳥取県として初めて出展します。

- 1 開催期間 平成29年9月16日（土）～17日（日）（2日間）
- 2 場 所 京都市勧業館（みやこめッセ）（サブ会場：京都国際マンガミュージアム）
- 3 来場者数 約44千人（平成28年度実績）
- 4 出展内容

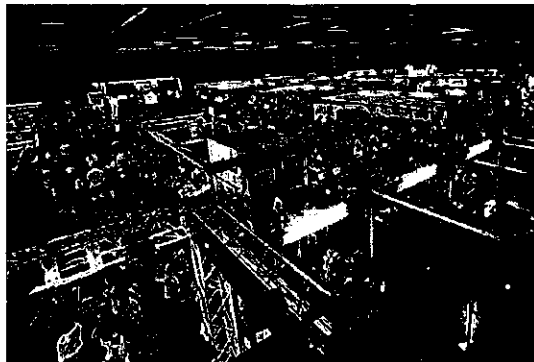
ブースでの展開

- 鬼太郎列車・コナン列車やコナン駅を強調し、関西からの鉄道を利用した観光誘客を図ります。
- 新たな拠点施設（コナンの家 米花商店街、世界妖怪会議等）をPRします。
- ブース内に撮影用パネルを配置し、来場者による撮影とツイッター等ソーシャルネットワークサービスでの拡散を図ります。

【ブースイメージ】



【昨年度の模様】



【参考】

○京まふの概要

- ・平成24年度に初めて開催されて今回が6回目。毎年9月に開催。
- ・来場者数 約44千人（昨年度実績、初回の約24千人から年々増加中）
- ・内容 出展エリア、ステージイベント、ショップ、カフェ、出張編集部、コスプレエリアなど

○他の出展者の概要

出版社、テレビ局、グッズメーカー、大学等68社が出展（本県と関係の深い出展者は以下のとおり）

読賣テレビ放送	TVアニメ名探偵コナンの歴史を振り返る主題歌歴史展示 (主催者に依頼し近接してブースを配置)
グッドスマイルカンパニー	「ねんどろいど」をはじめとした発売前・予約開始前の貴重なフィギュア展示
アニメツーリズム協会	「全世界のアニメファンが選んだ、訪れてみたい日本のアニメ聖地88（2018年版）」の紹介

伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント等について

平成 29 年 9 月 15 日
西部総合事務所地域振興局

伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント、1300 年祭の広報協力に係る協定の締結等について報告します。

1 伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント

(1) 「星取県」大山フェスティバル（大山町会場）〔主催：1300 年祭実行委員会〕

伯耆町会場（7/22）、江府町会場（8/27）に続き 3 回目の開催。

⇒ “宙(そら)ガール” 篠原ともえさんを招聘し、大山から望む星空の魅力や「星取県」の PR とともに、来年の 1300 年祭「星取県」プロジェクトの本格実施に向けた機運醸成を図る。

ア 日時 9 月 17 日（日）16:00～21:00

イ 会場 大山総合体育館（西伯郡大山町大山 145-13）

ウ 内容 移動式ドームによるプラネタリウム上映、トークショー、
星空ウォッチング

エ 備考 山ガールサミット in 鳥取大山（9/17～18）と同日開催



(2) 秋のたいまつ行列 〔主催：1300 年祭実行委員会〕

大山夏山開き祭の前夜祭で行われ、全国から多数の観光客が参加する「たいまつ行列」を秋にも実施。

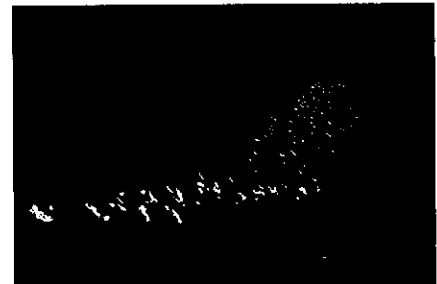
⇒ 大山の荘厳かつ幻想的な雰囲気を楽しめる人気のイベントを 9 月にも実施することで、シーズンを通じた、切れ目ない観光誘客を図る。

ア 日時 9 月 24 日（日）午後 7 時～

イ 会場 大神山神社奥宮～大山寺博労座

※平成 30 年秋にも「1300 本のたいまつ行列」を開催予定。

※同日、大山古道「川床道」を活用したハイクイベント「ホーリートレイル（大山・三徳山ルート）」も実施。約 9 km のハイクを楽しんでいただいた後で、たいまつ行列も満喫していただく。アウトドア情報誌「BE-PAL」などを活用し
広報・周知。



2 伯耆国「大山開山 1300 年祭」の広報協力に係る協定の締結

1300 年祭の広報活動等の協力を申し出ていただき、協定の締結に至ったもの。

⇒ それぞれの企業のネットワーク、強みを活かした広報を展開していただく。

(1) 米子信用金庫との協定

ア 協力内容

- ・米子信用金庫店舗へののぼり旗、パンフレット等の設置
- ・名刺へのロゴマーク、応援メッセージ表示
- ・情報誌、カレンダー、HP を通じた広報
- ・全国の信用金庫が企画するツアー誘致の際の 1300 年祭 PR

イ 協定日時等

(ア) 日 時 平成 29 年 8 月 30 日（水）

(イ) 会 場 米子信用金庫（米子市東福原 2 丁目 5-1）

(ウ) 内 容 調印式及び出発式

(エ) 締結者 ・米子信用金庫理事長 青砥隆志

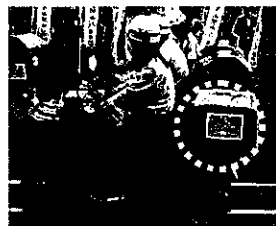
・伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会会長 松村順史



(2) 日本郵便株式会社 伯耆地区連絡会地区総括局及び米子郵便局との協定

ア 協力内容

- ・郵便局社員の名札・名刺への1300年祭ロゴマーク表示
- ・郵便局の車両への1300年祭ロゴマーク貼付
- ・郵便局窓口等における1300年祭の広報、周辺観光地図等の設置



イ 協定日時等

- (ア) 日 時 平成29年9月5日(火)
- (イ) 会 場 米子郵便局(米子市弥生町10)
- (ウ) 内 容 調印式及び出発式
- (エ) 締結者 日本郵便株式会社伯耆地区連絡会地区統括局長兼米子天神町郵便局長 口田剛史
日本郵便株式会社米子郵便局長 山縣真二郎
伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会会長 松村順史
鳥取県西部総合事務所長 中山貴雄

3 藤井フミヤ氏出演の大山の特別番組の撮影(ロケ)について

大山を舞台に藤井フミヤ氏出演の紀行番組の撮影が行われ、10月に中・四国地方で放送予定。

※藤井フミヤ氏の「山」との関わり

10数年前にロケで訪れた屋久島で山に魅了され、登山が趣味に。八ヶ岳や北アルプスへの登山の特別番組も放送。今回、藤井氏にとって初めての大山登山。

(1) 撮影(ロケ)概要

ア 撮影日 8月30日(水)～9月1日(金)

イ 撮影内容

8/30	鏡ヶ成(ブナ林・溪流散策)、大山寺・大神山神社(大館住職、高橋神職と懇談)など
8/31	大山町神田(芝畑案内)、御来屋漁港(サザエ、アサギ紹介)、大山町上萬(野菜畑案内)、大山町種原(豆腐小屋で豆腐作り)、大山町名和(のまど間で生産者と大山の幸を囲みBBQ)など
9/1	大山登山

(2) 番組概要

- ア 番組名(仮) 藤井フミヤの“惚れる山、大山”～1300年愛される山～
- イ 放送エリア 中国・四国(JNN系列中四国6局)
- ウ 放送日 10月8日(日)14:00～(54分間)
※RCC中国放送のみ10月9日(月・祝)13:55～
- エ 放送内容 大山の歴史・自然・食・暮らしの体験、固有の植生や風景を感じる大山登山など
- オ 企画制作 (株)山陰放送

【参考】

藤井フミヤ(1962年7月11日生):日本の歌手、俳優。元チェッカーズのリードボーカル。福岡県久留米市出身。

